



第27回 日本交通医学工学研究会 学術総会のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、来る**9月17日(祝日)**、第27回日本交通医学工学研究会学術総会を開催いたしますので、ぜひともご出席いただきたく、ご案内申し上げます。

今回も名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館で行います。

なお、講演会会場の2階カンファレンスホールでは飲食はできません。飲食はすべて1階をご利用ください。また、会場周辺には自動販売機等がございません。飲み物は各自ご持参下さい。

当日は大学内への自動車の乗り入れは有料です(**1時間600円 台数に限りあり**)。公共交通機関のご利用をお願い申し上げます。

敬具

記

主 題： 身体能力維持向上に貢献するモビリティ

会 期： 平成30年9月17日(祝) 10:00~17:30

会 長： 奥地 弘章(トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 常務役員)

会 場： 名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館

〒464-8601 名古屋市中区栄1-7-20-5B **【HP】** <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

《交通アクセス》

最寄駅 地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車、2番出口(右)

→金山総合駅[地下鉄名城線:左回り]→名古屋大学

→名古屋駅[地下鉄東山線:藤が丘行]→本山[地下鉄名城線:右回り]→名古屋大学

→豊田・犬山[名鉄豊田線・地下鉄鶴舞線]→地下鉄八事駅[地下鉄名城線:左回り]→名古屋大学

《昼食について》

当日は祝日のため、名古屋大学 東山キャンパス内の食堂および売店の利用ができません。当会にて昼食(お弁当1,000円:お茶付き)をご用意させていただきますので、ご利用下さい。なお、当日のお申込、およびご用意は出来ませんのでご了承下さい。(昼食休憩時間は12:30~13:30です)

昼食ご希望の方は、学術総会費等と併せてお振込みいただきますよう、お願い申し上げます。

以上

◆お申し込み・手続きのご案内

この学術総会は一般に公開され、混雑が予想されますので、参加予約制(先着順、定員300名)とさせていただきます。賛助会社の会員の方は各担当者までお申し込み下さい。また個人会員の方は氏名、連絡先、TEL、FAX、(E-MAIL)をご記入の上、ハガキ・FAXまたはE-MAILにて下記宛にお申し込み下さい。ご参加の方には、後日、抄録集と振込用紙をお送り致します。前日までに振込下さい。なお当日のキャンセルはお受けいたしかねますのでご容赦下さい。

締切日：一般9月7日(金) 賛助会社会員8月31日(金)

費 用：学術総会費 10,000円(正会員年会費5,000円、参加費5,000円)・昼食代1,000円

宛先 〒460-0008 名古屋市中区栄1-7-20-5B 日本交通医学工学研究会

TEL:052-222-4811 FAX:052-222-4812

E-MAIL: info@jatme.jp **【HP】** <https://www.jatme.jp>

第27回 日本交通医学工学研究会 学術総会のプログラム

主 題： 身体能力維持向上に貢献するモビリティ

会 期： 平成30年9月17日（祝）10:00～17:30

会 長： 奥地 弘章（トヨタ自動車株式会社 先進技術開発カンパニー 常務役員）

会 場： 名古屋大学 東山キャンパス 野依記念学術交流館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町【HP】<http://www.nagoya-u.ac.jp/>

- ◆開会・挨拶 (10:00～10:20)
- ◆シンポジウムA：身体能力と交通安全 (10:20～12:05)
 - A-1 S I P交通事故パターンによる、高齢・若年運転者の事故傾向の分析 (35分)
木内 透 公益財団法人 交通事故総合分析センター 研究部 主任研究員
 - A-2 高齢ドライバーの状況適応能力と運転行動 (35分)
佐藤 稔久 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクター研究センター 研究チーム長
 - A-3 マツダの目指す自動車の未来像 (35分)
柄岡 孝宏 マツダ株式会社 商品戦略本部 主査
- ◆パネルディスカッションA (12:05～12:30)
- ◆休憩 (12:30～13:30)
- ◆第27回 定期総会 (13:30～14:00)
- ◆特別講演 身体運動と脳の学習・適応メカニズム (14:10～15:00)
～運転行動を支える脳のネットワーク～
今水 寛 東京大学 人文社会系研究科心理学研究室 教授
- ◆コーヒープレイク (15:00～15:15)
- ◆シンポジウムB：身体能力向上・維持のメカニズム (15:15～17:00)
 - B-1 ロボットを用いた身体能力の回復について (35分)
菅 敬介 トヨタ自動車株式会社 未来創生センター Z-フロンティア部 部長
 - B-2 脳のリズムネットワークの機能と回復メカニズム (35分)
北城 圭一 国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター
CBS-トヨタ連携センター
脳リズム情報処理連携ユニット ユニットリーダー
 - B-3 運動による身体機能維持のメカニズム (35分)
～身体機能維持という観点からみた善いメカニカルストレスと悪いメカニカルストレス～
澤田 泰宏 国立障害者リハビリテーションセンター
病院 臨床研究開発部 部長
(研究所 運動機能系障害研究部併任)
- ◆パネルディスカッションB (17:00～17:25)
- ◆閉会 (17:25～17:30)

The 27th Scientific Meeting Program

The Japan Association of Traffic Medicine & Engineering

Main Theme : Mobility which contributes to maintain and improve physical ability

Date : September 17,2018 (celebration) From 10:00 to 19:00

President : Hiroaki Okuchi (TOYOTA MOTOR CORPORATION)

Venue : Noyori Conference hall in the Nagoya University Higashiyama campus

〒464-8601 Furouchi, Chikusa-ku, Nagoya-shi 【HP】 <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

- 10:00~10:20 ◆ Opening
- 10:20~12:05 ◆ Symposium A : Physical ability and traffic safety
- [A-1] Analysis of trends on accidents caused by elderly and young drivers using
 SIP-Accident Patterns
 Toru Kiuchi
 Institute for Traffic Accident Research and Data Analysis
- [A-2] Relationship between elderly driver's demand control and the driving behavior
 Toshihisa Sato
 National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
- [A-3] Mazda's Vision for Cars of the Future
 Takahiro Tochioka
 Mazda Motor Corporation
- 12:05~12:30 ◆ Panel Discussion A
- 12:30~13:30 ◆ Lunch Time
- 13:30~14:00 ◆ The 27th General meeting
- 14:10~15:00 ◆ Special Lecture
 Body movements and brain mechanisms for learning and adaptation
 ~Brain Networks Supporting Driving Performance~
 Hiroshi Imamizu
 The University of Tokyo
- 15:00~15:15 ◆ Coffee Break
- 15:15~17:00 ◆ Symposium B : Mechanism of physical ability improvement and maintenance
- [B-1] Recovery of physical ability using robots
 Keisuke Suga
 TOYOTA MOTOR CORPORATION
- [B-2] Functions and recovery mechanisms of rhythmic networks in the brain
 Keiichi Kitajo
 CBS-TOYOTA Collaboration Center, RIKEN Center for Brain Science
- [B-3] Molecular Mechanisms behind Positive Effects of Physical Exercise on Organismal
 Functions
 ~Exercise as Mechanical Stress on Human Bodies~
 Yasuhiro Sawada
 National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities
- 17:00~17:25 ◆ Panel Discussion B
- 17:25~17:30 ◆ Closing

会場案内図

地下鉄名城線「名古屋大学前」下車 ②番出口

